



南小だより

櫛引南小学校
令和7年6月26日



人との関わりで大きく成長

校長 奥山 徹

今年の6月は全国的に暑い日が多く、もうすでに「夏本番」の時期に入ったかのよう感じられます。そんな暑い6月でしたが、みなみっ子は様々な出前授業や校外学習で、学びを広げ深めてきました。6/12(木)～13(金)に行われた4・5年生林間学校では、快晴のもとカヌー・野外炊飯・テント泊・イナワつかみなど、大自然の中で普段はできない体験をし、友達と協力することの大切さを実感しながら学びました。6/19(木)～20(金)の6年生修学旅行は、今年度から行き先を石巻・仙台方面に変更し、大きな目的であった震災学習で、現地のガイドの方からいろいろなお話をお聞きし、たくさんのかんじ取ることができました。

「人は人によって磨かれる」という言葉があります。この「磨かれる」には、大きく2つの磨かれ方があると思います。

1つ目は、人は他者から影響を受け、自分を磨くことで成長するということです。子どもたちにとっては、お家の方、地域の方、ゲストティーチャー、学校の先生、スポ少等の先生などが他者にあたり、今まで知らなかったことを教えてもらったり、その人の生き方に触れたりすることで磨かれていくのです。

2つ目は、友達と共に磨かれていくことです。自分一人ではできないことも、仲間と学び合い、励まし合って取り組むことにより、いろいろなことができるようになっていきます。一方、実際の学校生活の中では、互いに我慢しなければならないことも出てきます。例えば、昼休みや花まるパーティーでは様々な意見の中から何をして遊ぶのかを決めなければなりません。1つの遊びに全員が賛成するとは限りません。ある意味、みんなで遊ぶことは意外に難しいのかもしれませんが、そういった状況が出てくることで、子どもたちはより深く考え、知恵を出し合い乗り越えようとします。その過程の中で「自分だけのためではなく、みんなのために・・・」という気持ちが高まって、一人では味わえなかった充実感や所属感の喜びを感じることができるのではないのでしょうか。

子どもたちは、人との関わりによって磨かれ、成長していきます。自分が大切にされていることによる他者への信頼感、守られていることによる安心感や自己肯定感、友達との強い絆による勇気や耐力などは、子どもたちにとって未来を切り拓く、そして社会をたくましく生きていく際の大きな土台となるものです。今後も教育活動の随所で、子どもたちに多様な「人」と対話し、協働する力を育んでまいります。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

第1回学校運営協議会 ありがとうございました

櫛引南小に学校運営協議会が設置されて3年目となります。今年度の第1回学校運営協議会が6月4日(金)に開催されました。今回の協議会には、東荒屋の蛸井由美子さんにお出でいただき、朝日ブロックの地域学校連携活動について御講話いただきました。地域と共に進める学校づくりにおいて、具体的事例を数多く紹介していただき、今後の櫛引南小の地域との連携活動の計画づくりに大きく役立てることができました。ありがとうございました。



図書委員会で日本語をラオス語に直した絵本をラオスへ贈る活動です。余目ライオンズクラブの会長さんに渡しました。